

おはなし絵本・ぬいぐるみ人形劇

タイトル『ともだちくるかな』

原作：内田麟太郎

～幼稚園、保育園で人気のキツネとオオカミの「ともだちシリーズ」より～

出演：キツネ
オオカミ

音楽：ギターによる生演奏、生歌

語り：絵本の読み聞かせ風

キツネ、オオカミのセリフは、生で2人の役者が、ぬいぐるみの動きに合わせて、演じます。



<あらすじ>

オオカミの誕生日。

オオカミは、ともだちのキツネが来てくれると信じて、一生懸命部屋の掃除をして、キツネが来るのを待ち続けます。

ところが、キツネは来なかったのです。

ショックを受けたオオカミは、悲しくて辛くてたまりません。

次の日になっても、悲しい気持ちが消えないオオカミは、暴れたり叫んだりして、気を紛らわせようとしますが、ちっともうまくいきません。

オオカミは、この悲しみは、ココロがあるから悲しいんだと気づき、ココロを捨ててしまいます。

そこへ、キツネが、オオカミの誕生日プレゼントを持って現れます。

(実は今日がオオカミの誕生日。オオカミは1日間違えてたのです)

待ちに待ったキツネの訪問だったのに、オオカミは嬉しそうじゃありません。

心配するキツネに、オオカミは、ココロを捨てたから、嬉しくないんだと言います。

それを聞いたキツネは、もう二度とオオカミと一緒に笑えないと思うと、悲しくて悲しくて泣いてしまいます。それを見たオオカミも悲しくなり大泣きします。

やがて、我に帰ったオオカミは、悲しくて泣くってことは・・・ココロがあるからだ気づき・・・

オオカミとキツネは、大喜び！嬉しくて嬉しくて踊りだします。

・・・やっぱり二人は最高の友だち！！